

夏の思い出いっぱい！

白石みのり保育園「なつまつり」

7月27日、白石みのり保育園で「なつまつり」が開催され、0～5歳の園児71人が参加しました。本年4月に開園した同園では初めてとなる夏の行事で、オープニングは、園児全員が輪になって「おどっちゃおんど！」を踊ったり、年長組が制作したみこしを担いで披露したりするなど、まつりを大いに盛り上げていました。また、3～5歳児のクラスごとに考えた魚釣り、輪投げ、ペットボトルボウリングのコーナー、先生たちが考えたお面やくじ引き、ぱっちゃんかえるなど7種類の遊びのコーナーを用意。園児たちは、各コーナーを思い思いに回りながら元気いっぱい遊び、笑顔あふれる時間を過ごしていました。

参加した園児は「魚釣りでたくさん魚が釣れて楽しかったです」「好きなキャラクターのお面がいっぱいあってうれしかった！」と笑顔で話してくれました。



1\_かわいいお面がいっぱい！どれにしようかな？  
2\_輪ゴムを使ったぱっちゃんかえる。びよんびよん飛んで楽しいな  
3\_大人気の輪投げ。なかなか入らなくて難しい！

幻想的な和紙あかりの空間

白石和紙あかり展

8月7日から20日まで、壽丸屋敷で「第19回白石和紙あかり展」が開催されました。白石和紙づくりの技術を継承しているまちづくり団体「蔵富人」が主催するこのイベントは、伝統的な白石和紙の作品を通して、白石和紙の魅力を知ってもらおうと毎年開催されています。

あかりは、流木やツルなどで作った骨組みに和紙を貼り付けたもので、和紙のやわらかい光や独特な風合いが特徴です。会場には、5～7月に開催した「白石和紙あかりワークショップ」の参加者やスタッフの作品約100点と大平小学校、小原小中学校、東中学校の児童生徒が制作したうちわと文鎮約60点が展示されました。来場者は作品を眺めながら、白石和紙を通したやわらかな光とぬくもりを楽しんでいました。

また、壽丸屋敷の店蔵では、白石和紙の製造工程や作品を展示した白石和紙展を常設しています。入場無料ですので、ぜひお越しください。



1\_個性豊かに作られたあかりが展示されました  
2\_最優秀賞に選ばれた濱中昇さん（石巻市）の作品  
3\_7月に小原小中学校で行われたうちわ作りの様子  
4\_市内小中学生が制作した和紙作品

地域の伝統行事が復活

東中学校「孫の手」作り

7月27日、東中学校で地元産の竹を使った「孫の手」作りが開催され、1学年の生徒114人が制作に挑戦しました。この取り組みは平成30年度で閉校した白川中学校で長年行われていた伝統行事を引き継いだもので、東中学校では今回が初開催。生徒たちは使い慣れない小刀や糸のこを使っての作業に苦戦した様子でしたが、講師役を務めたまちづくり協議会の方々のアドバイスを受けながら心を込めて孫の手を作りました。



▲竹の削り方のコツを教えてくださいました

子どもたちの命を守る

熱中症対策アドバイザー養成講座

7月29日、本市と包括連携協定を締結する大塚製薬株式会社の協力で、大平小学校で「熱中症対策アドバイザー養成講座」を活用した研修会が開催されました。この日は、同校の教職員13人がオンラインで講義と確認テストを受講。熱中症に関する知識やイベントでの工夫を学んだ後、職員同士で気づいたことを話し合いました。市内の各学校では、熱中症リスクが高まる時期に本講座を積極的に活用し、子どもたちの命を守る取り組みを強化しています。



▲話し合いでは行事の中止基準を明確にするなど活発に意見が交わされました

青少年の健全育成に尽力

「蓮心館」が少年剣道教育奨励賞を受賞

長年にわたり少年剣道の奨励、指導の尽力に貢献している団体に贈られる少年剣道教育奨励賞を本市スポーツ少年団の「蓮心館」が受賞しました。同団体は、剣道を通じて人格形成や礼儀を身に付け、まっすぐな剣道を目指して活動しています。8月19日、市役所へ受賞の報告に訪れた指導者の山路あや子さんは「先生方と子どもたちのがんばりが築き上げた結果だと思います。これからもまっすぐで健やかな剣士を育てていきたいです」と話してくれました。



▲受賞の報告に訪れた山路あや子さん（中央右）と半澤由羽くん（中央左）